



# MANAZURU

# 議会だよりまなづる

## No.61

2018年(平成30年)

11月1日発行



**真鶴町絵画コンクール展  
町議会議長賞 富崎 漣さん作品**

## C 目次 ontents

9月定例会	2~12P
一般質問	13~15P
審議結果	16P
委員会等報告	17P
議会報告会開催案内	17P
意見書	20P
編集後記	20P

### 神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1  
電話0465-68-1131(内線360)  
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会  
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

# 9月定例会

9月4日～9月14日  
定例会開催

9月定例会は、選任・任命・条例の制定・補正予算・決算の認定等の審議が行われました。

**決算審査特別委員会設置に関する決議について**  
平成29年度全会計の決算を審査する決算審査特別委員会を委員数6名で設置しました。

**副町長の選任について**  
青木剛氏の任期が満了となるため同氏を再任しました。

**真鶴町監査委員の選任について**  
田村佳江氏の任期が満了となるため、後任に後藤賀津子氏を選任しました。

**青木健** 誰かの推薦、推挙があり、町内のことをどの程度把握されている方ですか。

**総務課長** 田村氏と相談し、税理士会にも依頼した中で選任しました。

**教育委員会委員の任命について**  
脇山亞子氏の任期が満了となるため、後任に松野司氏を任命しました。

**真鶴町農業委員会委員の任命について**  
委員に欠員が生じたため新たに山平和子氏を任命しました。

**青木健** この方はどこで農業をしていますか。  
**産業観光課長** 石名坂のバス停の上でオリーブ園をされています。

**人権擁護委員の推薦について**  
望月秀子氏の退任に伴い、後任に朝倉隆氏を選任しました。

**専決処分の報告について(第4号)**  
**専決処分の報告について(第5号)**  
公用車の事故について、和解し、及び損害賠償の額を決定した専決処分について報告がありました。

**真鶴町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について**  
平台住宅の老朽化に伴いその用途を廃止するため、所要の改正をしました。

**岩本** 取り壊した跡地の利用計画は決まっていますか。  
**健康福祉課長** 総合計画、公共施設等総合管理計画との整合性、また近隣住民等の意見を聞きながら検討します。

**真鶴町自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について**  
青木健 シニアカーは何台駐車できますか。  
**総務課長** 2台です。

**平成30年度真鶴町一般会計補正予算(第2号)**  
歳入歳出それぞれ1億1958万3000円を追加し、予算の総額を36億3141万3000円としました。

**黒岩** 財政調整基金繰入金4999万9000円減の原因を伺います。  
**企画調整課長** 繰越金が予定外に多く繰り越すことができ、財政調整基金の取崩しを見送りました。

**黒岩** 公有財産維持管理経費修繕費の42万6000円の内容を伺います。  
**総務課長** コミュニティ1真鶴の誘導灯の交換、琴ヶ浜研修センターの非常灯のバッテリーの費用が主なものです。

**黒岩** 街灯修繕事業はLEDの街灯修繕だと思いますが、LEDはあまり修繕が必要ではないのではないですか。  
**まちづくり課長** LED本体ではなく、倒木による断線とか、水銀灯や防犯灯の撤去費用も入っています。

**青木健** 多額の予備費を積む理由を伺います。  
**企画調整課長** 平成30年度予算編成にあたり、財政調整基金から5000万円取崩したこともあり、予備費に置いています。

**青木健** 最終的に予算の何%を予備費にみえますか。  
**企画調整課長** 予算の1割程度と考えます。

**岩本** 下水道の普及を進めている中で浄化槽設置はそのエリアから外れていると思いますが。

**町民生活課長** 本町の合併処理浄化槽の設置事業につきましては、下水道計画区域外に補助していません。

**岩本** 空き家協議会委員謝礼は当初予算になく、第1号補正でもなかったと思いますが。

**まちづくり課長** 9月中旬に踏破調査が終わり、空家対策計画策定が本年度中に出来そうなので計上しました。

**平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)**  
歳入歳出それぞれ1億2143万7000円を追加し、予算の総額を13億2861万5000円としました。

**黒岩** その他繰越金が1億2143万7000円になった理由を伺います。  
**町民生活課長** 決算に伴う剰余金の一番の大きな理由は、平成29年度の保険給付金が非常に低廉な規模で推移したことです。



質疑応答

9月定例会

**平成30年度真鶴町 国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）**

賛成多数

歳入歳出それぞれ48万9000円を追加し、予算の総額を1億45万8000円としました。

**真鶴町下水道事業 特別会計補正予算（第1号）**

全員賛成

歳入歳出それぞれ224万3000円を追加し、予算の総額を2億5029万8000円としました。

**平成30年度真鶴町 真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算（第1号）**

全員賛成

歳入歳出それぞれ501万9000円を追加し、予算の総額を4441万6000円としました。

**平成30年度真鶴町 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）**

全員賛成

保険事業は歳入歳出それぞれ2911万円を追加し、予算の総額を8億9868万2000円とし、介護サービス事業は歳入歳出それぞれ33万8000円を追加し、予算の総額を648万7000円としました。

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ136万1000円を追加し、予算の総額を1億2273万3000円としました。

決算成果概要説明

町長より第4次総合計画「未来を築くビジョン」に掲げる施策体系に沿って、平成29年度一般会計について「創る」「支える」「元氣な仕事」「学び」「自治」の5分野別に成果と概要の説明があり、続いて6特別会計、水道事業会計毎に説明がありました。

監査報告

監査委員より、平成29年度一般会計他、6特別会計、水道事業会計の決算について、計数的に正確であり、内容も正当、予算執行及び全体的な事務事業の処理は、概ね適正に処理されており、契約書類等よく整理保管されており、各所管の対応も十分との報告がありました。

決算の認定について（平成29年度真鶴町一般会計決算）

賛成多数

〔歳入〕

歳入総額は35億5033万5000円で前年度対比9320万5000円の減となりました。

板垣 固定資産税の未済額が増えた理由について伺います。

税務収納課長 繰越の滞納額が多く、県との不動産共同公売に参加して

ますが、落札者がなく、収入未済額の減額につながってこないところですが、情報センターの夜間利用が増えることは開館による防犯効果も期待できると思いますが、利用回数は増えましたか。

でしか今のところありません。板垣 「くらしかる真鶴」の利用応募者の住んでいる地域等の分析はしましたか。

委託しています。海野 採石場跡地を山林に戻すとき、桜にとは考えなかったのですか。産業観光課長 山に戻すというのが基本となっています。



板垣 産業活性化センターの体験型施設は、予算審議において使用が増える方策を取ると聞いていたが、その点はどういうようにされたのか、伺います。

政策課長 利用者の地域につきましては、近隣では横浜、静岡県、奈良県もありましたが、ウェー卜的には都内が多かった状況です。海野 「真鶴町・湯河原町共有土地管理事務負担金について」測量で250万円かかったと聞いていますが、湯河原町の負担分についてはどうなっていますか。

総務課長 共有土地管理について当町で事務を行っているように聞いていますので、湯河原町からも負担分はいただきたいと考えます。海野 「水源環境保全・再生施策市町村交付金について」100万円を用いての草刈りは町でやっているのですか。それとも委託しているのですか。板垣 「消費生活相談業務負担金について」町民

産業観光課長 ホームページを通して年間を通じて募集を行っています。一回ごとの使用という形

総務課長 基本的には神奈川県内の市町村研修センターで職員が研修を受ける際の旅費です。年間計画で専門的な業務研修であるとか一般的な通常の公務員のあるべき研修とか、幅広く行っています。

板垣 「消費生活相談業務負担金について」町民

## 9月定例会

9月定例会

からの相談件数と内容を伺います。

**町民生活課長** 29年度は苦情も含め、問い合わせ件数は23件でデジタルコンテンツや不当請求などとなっております。

**板垣** 被害にあった時にどこに相談したら良いかなどのお知らせはどのようになっているのか伺います。

**町民生活課長** 広報「まなづる」で、心配な場合は町または消費生活相談の方にすぐに連絡するよう広報しています。

**板垣** 臨時福祉給付金で国庫への返納金がでていますが、給付率はどうなっていますか。

**健康福祉課長** 平成28年度分30名を合わせ1534人分、給付率92・13%です。

**板垣** 残った分について原因について伺います。  
**健康福祉課長** 申請のない世帯へは、再三電話勸奨や2回の催告を行いました。申請期限内に申請がありませんでした。

**板垣** 健康相談事業はど

のように展開しましたか。

**健康福祉課長** 保健師・心理士による健康相談を毎月、栄養士による栄養相談を毎週金曜日に、それぞれ、乳児1名、成人23名を継続的に行いました。

**青木繁** サテライトオフィス誘致事業委託料はどのような業務を委託しているのですか。

**政策課長** 内容はプロモーションの実施、これにはサテライトオフィス誘致につながるイベントの企画・運営・講師手配、PR用冊子、ウェブサイト等の作成等が含まれています。

また、コンシェルジュの育成業務支援、視察にきた企業等の交渉、案内等の業務が入っています。その他サテライトオフィス進出企業受入れ準備等を行ってもらっています。

**青木繁** 誘致の事業成果、実績はどうあらわされていますか。

**政策課長** 大阪の企業がテックラボへ年間利用で

入っており、町内の主婦を雇用し事業展開が行われています。

現在25社程度から打診、視察等が来ています。

**海野** 町遺族会交付金、真鶴と岩、活動は両方で行っているのですか。

**健康福祉課長** 真鶴町遺族会として決算書と事業報告書をもたせてもらっています。

8月15日の慰霊祭は岩と真鶴両方で実施、会は一つですが、活動は岩、真鶴両方で行っています。

**板垣** 不登校訪問相談事業で、登校できない子どもへのつながりを持つことは大事だと思いますが、年間何回ぐらい訪問しましたか。

**教育課長** ほぼ毎日のように直接訪問したり、メールや電話、学校などいろいろな場面で訪問員が尽力しており、卒業後も児童、生徒に寄り添う形で訪問指導をしています。

**板垣** スクールサポーター事業におけるコーディネーターはどのようなことをしましたか。

地域でのいろいろな分野で特技をもった方に登録していただき、学校の授業の中で必要な分野の技術を教えていただくということで、マッチングを図ってもらいました。

**板垣** 民俗資料館の年間利用者数は何名ですか。

**教育課長** 現在は土・日の開館で、平成29年度は484名の利用者がありました。

**板垣** 以前、周辺地域と一体的な観光とか、そういうところで考えていくと伺いましたが。

**教育課長** 周辺の地域には如来寺や兒子神社、瀧門寺、街中には小松石などを使った構造物があり、地域の歴史や文化、伝統が凝縮されていますので、民俗資料館単体ではなく、全体的に見ながらの運営を考えています。

**黒岩** ①琴ヶ浜研修センターについて、琴ヶ浜研修センターにかかった経費は厳しい町財政の中、

施設購入費を入れればこれまで2729万7823円かかったことになり、自治会活動・社会教育活動・福祉推進活動・サークル活動・小中学校の教育活動・友好親善都市との交流活動などの当初の計画を進めようとする経費がもつとかなり高くなります。地震津波対策は海のそばの公共施設として万全といえるでしょうか。宿泊や子どもとの交流事業は行うべきではないと考えます。

②高すぎる国保税について、28年度の真鶴町の国保税は県内で世帯は3番目に高く、一人当たりは5番目に高くなっています。一般会計からの法定外繰出をするべきです。③議員と特別職の期末手当は認められません。④マイナンバー制度について、個人情報の漏洩などの不安が払拭されないのではないのでしょうか。⑤保育料について、少子化対策を進め、子育て世代を支援するため引き上げは認められません。

施設購入費を入れればこれまで2729万7823円かかったことになり、自治会活動・社会教育活動・福祉推進活動・サークル活動・小中学校の教育活動・友好親善都市との交流活動などの当初の計画を進めようとする経費がもつとかなり高くなります。地震津波対策は海のそばの公共施設として万全といえるでしょうか。宿泊や子どもとの交流事業は行うべきではないと考えます。



施設購入費を入れればこれまで2729万7823円かかったことになり、自治会活動・社会教育活動・福祉推進活動・サークル活動・小中学校の教育活動・友好親善都市との交流活動などの当初の計画を進めようとする経費がもつとかなり高くなります。地震津波対策は海のそばの公共施設として万全といえるでしょうか。宿泊や子どもとの交流事業は行うべきではないと考えます。

質疑応答

9月定例会

【賛成討論】 なし

**全員賛成** を考えなくてはと思いま

0円の増、歳出総額は4

2万円5000円で前年

【歳入】 青木健 町民税の現年課

**決算の認定について**  
(平成29年度真鶴町

比5122万1000円の

**決算の認定について**  
(平成29年度真鶴町

度対比91万4000円の

平成29年度決算に基

税務収納課長 個人町民

**賛成多数**

海野 今まで整備してき

**全員賛成**

**賛成多数**

断比率について

税務収納課長 個人町民

対比5318万3000

ますか。

歳入総額は2038万

歳入総額は1億209

率も、早期健全化基準を

ス40人となっています。

円の減、歳出総額は13億

平成29

歳出総額は1536万8

8万4000円で前年度

平成29年度決算に基

青木健 真鶴町の一人当

**決算の認定について**  
(平成29年度真鶴町

の現状についてどう考え

**決算の認定について**  
(平成29年度真鶴町

0円の増となりました。

下水道事業特別会計、

り税務収納課長 一人当た

**計(施設勘定) 決算)**

化槽を既に設置していた

**介護保険事業特別会計決**

**算の認定について**

平成30年台風12号、

青木健 県内でどのくら

8000円で前年度対比

が原因かと考えています。

額は9億4023万40

収益的収入は2億37

する意見書について

税務収納課長 県内で何

減、歳出総額は9168

のところが、70、80万

00円で前年度対比1億

35万6000円で前年

青木健 滞納繰越分、調

定額に対し、収入滞額、

比1124万円の減とな

りです。

度対比1億2617万7

073万7000円の減

決算審査

税務収納課長 町県民税

**算)**

町下水道事業特別会計決

に關しては何らかの方法

で前年度対比93万100

一般会計決算

青木健 固定資産税、土

## 9月定例会

償却資産件数、前年に対しての土地家屋、償却、増減を伺います。

**税務収納課長** 法定免税点以上の筆数は、29年度1万419筆で、28年度は1万365筆で、54筆の増となっています。

土地の納税義務者数は3328人、28年度が327人で1人の増です。建物の棟数は、29年度4429棟、28年度が4426棟、プラス3棟です。

償却資産は、29年度は法人112社で28年が122社、マイナス10社です。  
**青木健** 普通交付税の中で消防費は幾らですか。

特別交付税のうち、何を主なものとして交付していたのですか。  
**企画調整課長** 一番大きいのは、地域公共交通、地方バスということですね。請いたものが、額的には476万2000円と一番多くなっています。

その次に大きなものは、移住定住施策に対して296万1000円いた

いています。

特殊な事情のものが1億7893万1000円で、特殊事情のところで、当町は多くいただいている状況です。

消防費は1億4401万9000円となっています。

**黒岩** 28年4月より30年度まで、保育料を国基準に近づけるため、毎段階的に上げていくということですが、29年度の値上げ分はどのぐらいになりましたか。

**健康福祉課長** 29年度の保育料の徴収金を、28年度と比較した額は、今回100名分で166万3800円の増額となっています。

**黒岩** 放課後児童クラブについて、小学3年生までですが、夏休み期間は6年生までになったのですか。

**健康福祉課長** 現行3年生までの預かりを夏休みの長期休業中に限って拡大したいという意向で子ども子育て支援会議のほうに諮かっていきます。

委託させていただいて

おります事業所と協議をし、スペース等の件も考慮し検討しています。

**青木健** 真鶴町駅前駐車場使用料の契約台数、真鶴と湯河原の方々の利用の内訳、真鶴と湯河原町の契約者は何台ありますか。

**総務課長** 台数について一時駐車の場合は、その月々、日によって変わります。

定期による決まった方がとめる台数は、6月末現在、148台です。

また利用者につきましては、湯河原町が60%、真鶴の町民が40%という状況です。

**黒岩** 駅前駐車場は、29年4月より町の直営から観光協会の指定管理に移りましたが、財政的效果と内容の効果は、どうだったでしょうか。

**総務課長** 指定管理の評価委員会の結果では、機械化による人件費削減、レンタサイクル等もやっております、以前よりは黒字になっています。

**黒岩** 番号カード交付に

ついて、発行数が、真鶴13・9%、県が14・5%、国が10・5%だそうです

が、この事業を進める上で特徴的なことはあるのでしょうか。

**町民生活課長** マイナンのバーの普及につきましては、今後いろいろな場面で、例えば行政間の連携が進んでいくことよ

って添付書類が不要になることが予定されており

ます。現在コンビニエンスストアに置いてあるコピー機で、住民票や印鑑証明等の証明が出せるような環境にあります。

この環境に各自自治体は今後参加していくことによつて、より一層マイナンバーカードの普及は進んでいき、また皆さんの便利に役立つと考えております。

**田中** 海岸漂着物等対策で、漂着物を含め海岸に散乱しているごみ、またその他不要物の回収について、29年度、処理の内容、この発生の抑制に関



する啓発事業を行ったことの結果があれば伺います。

**町民生活課長** かながわ

海岸美化財団が行う清掃経費に対し、国の補助金をもとに県が創設した基金等の補助を受けています。

平成29年度で、ごみが約12トン発生しており、日ごろ海岸をパトロールしていただいた中で発生している清掃については、防災力強化のためのデジタル無線の子局設置と防災備蓄食品の購入を計画しました。

**海岸ごみに対する啓発** につきましては、岩海岸で行うビーチクリーンやクリーンキャンペーン真鶴、こういった活動を通じて町民の皆さんや、観

光客の皆さんに、海岸清掃の美化という啓発をしています。

**岩本** 歳入消費税県補助金について、当初予算706万9000円に対して昨年6月補正でマイナス239万4000円になり、また704万6000円になりました。

この理由は何ですか。  
**総務課長** 当初予算では二種類の事業を計画し、防災力強化のためのデジタル無線の子局設置と防災備蓄食品の購入を計画してしました。

県からの予算内示の中で県予算の枠を超えているとの連絡で減額を余儀なくされましたが、その後の動きの中で予算の通

質疑応答

9月定例会

り収まったものです。

**岩本** 財産収入の中の土地建物貸付収入、延滞はありますか。

**総務課長** 過年度の貸地料は大口の1社について、現年度分は遅滞なく、過年度分については年間100万円の分割納付をいただいているところで

す。  
早期解決とまでは行かないまでも分納で回収を図っています。

**岩本** 大口1社以外にも600万円ほどの遅延があるようですが、状況はどのようになっていますか。

**総務課長** 他に2社が遅れ気味ですがこれ以上遅れないよう管理しています。

**岩本** 不動産売払収入、600万円を当初予算計上して補正で0に戻しています。同じ状況が2・3年続いている様ですが同じ場所ですか。

**総務課長** 同じ場所です。  
**岩本** 売れない理由は、**総務課長** 公売で出していますが、買い手がつか

ない状況です。

**黒岩** おさかな号の使用状況と実績はどうなっていますか。

**産業観光課長** おさかな号は3件増加になっております。

檜原村に月2回、相模原に月1回、ほぼ月3回のペースで定期的に干物販売を行い、真鶴町の宣伝になっていきます。

**大井町**、あきる野市等にも、単発ではございますが、行っています。

定期的なものプラス新たな販路開拓に向けて、新しい場所にも動き出しています。

**売上金額**は、29年度使用者の報告で、92万7400円です。

【歳出】

**田中** 自治会助成事業について、役場窓口や町広報で発信する以外に、自治会加入者数を増加させる促進の手だてを実施されていますか。

**加入者**の割合、持ち家の方が何%か、また賃貸の方がどのくらいかを伺

います。

**企画調整課長** 自治会は独立した団体ですので、町からこういうふうになさいということはありません。

平成29年度は側面支援ということ、自治会の会議に、企画調整課の職員を同席させていただき、町に対しての意見を伺うことや、アドバイスをさせていただいております。

自治会の加入率の促進については、自治会の皆様の自主的な活動というところが一番重要ではないかと考えております。

**田中** 町として、例えば、加入促進ハンドブックを考えたことはありますか。

**企画調整課長** 助成の中で、100万円を活用してくださいますので、そういったハンドブックも含めて、皆様で検討いただくと良いかと考えております。

**青木健** 自治会助成事業の補助金100万円の算出の根拠と自治会の加入率を伺います。

**企画調整課長** 運営費の

助成については、均等割1万5600円、世帯割72万8216円、回覧物の配布については、均等割、9630円、世帯割40万4630円を基礎に加入世帯に対しての率で交付しています。

加入率は、29年度実績で、46・12%です。  
**黒岩** 公有財産維持管理経費のなかで、琴ヶ浜の研修センターについてどのくらい経費が掛かったか伺います。

**総務課長** 経常経費として琴ヶ浜の研修センターにかかわる部分については年間94万8823円です。

その他、屋外シャワー設備工事、バリアフリーの工事や備品購入費としてテーブル34台、椅子100脚を購入したことで234万9000円です。

**黒岩** 29年度はどういう内容で、何回使用しましたか。

**総務課長** 29年度は5件で363名の利用がありました。

**黒岩** かかる経費について

ではどのように考えていますか。

**総務課長** 当然、費用対効果というものを問われます。

できるだけ広く観光客も含めた中で利用の促進をしていきたいと考えています。

**岩本** 町有土地侵入防止柵設置工事の設置場所は亀ヶ崎ですか。

**総務課長** その通りです。  
**岩本** 設置後の管理見回り等はどのようにしていますか。

**総務課長** 危険な場所であることから、小田原警察からの要請もあり設置し、その後、パトロールをしていただいています。

釣り人が海岸においていく人がいるとの通報を受けて見回りを行ったこともあります。

柵設置後の侵入は無くなりました。

**岩本** 防犯カメラの設置場所は何処ですか。

**総務課長** 駅前駐車場の入り口に防犯対策として設置しました。

円準備されていて、予算審議の時には「要望があれば設置する」と答えていたと思いますが、要望は無かったですか。

**総務課長** 県の補助金事業として当初予算計上したもので、録画時間が2週間以上の性能を有する物とされていました。

条件に見合う性能の機種を探したところ30万円程度かかることから、今回は1台設置したものです。

**岩本** 滞納対策事業費支出が27万2000円あり印刷製本費や備品購入費が上がっていますが、効果は表れているのですか。

**税務収納課長** 3月の補正予算で計上したもので効果はこれからです。

**黒岩** ICT教育推進事業の進捗状況と特徴点はありますか。

**教育課長** まずICT教育活用推進プロジェクト担当者研究会を年3回実施いたしました。

次に真鶴町ICT教育活用プロジェクト教職員研修は、先生方に対する

## 9月定例会

9月定例会

研修で、小中学校それぞれで実施しました。

次に、プログラミングの教育実践事業は、真鶴小学校4年生を対象としたプログラミング学科の授業を実施しました。

次に、リテラシー教育講演会は中学1・2年生を対象に機器の正しい使い方や情報などに関する正しい知識を学び、インターネット上のトラブルやいじめの問題等から身を守り、適切に対処するための講演を実施しました。

これは、PTA関係の方々も出席していただきました。

次に遠隔授業の実践は小中学校の先生を対象に実施しました。

**高橋** ふるさと応援寄附金事業について、観光協会に委託している宿泊事業の取り扱いが減ったと聞きました。

その要因はなんですか。  
**政策課長** 28年度より町の事業者が直接つながる形ということで、10万円という高額の返礼品を

設定し、町内の民宿や旅館に泊まり宿泊体験ができる、磯料理を堪能しながらテックラボでのものづくりを体験できるというような形で、観光協会を窓口にして展開する返

礼品を設定したことで、28年度途中から、金額的にはかなり伸びました。29年度は、件数的には若干減りました。

**高橋** ふるさと応援寄附事業の寄附によって、真鶴町の財政としてはプラスになるが、一方、真鶴町民の方が他の自治体に対して寄附をされると、

対して寄附をされると、税金の減につながろうかと思えますが、現状はいかがでしょう。

**税務収納課長** いただいた寄附総額は82名567万5000円、町民の他自治体への寄附控除額が239万1000円となっております。

**青木健** 生きがい事業団の補助金342万9000円の内訳を伺います。

**健康福祉課長** 県の補助事業で、県の基準額153万円の2分の1補助、

それを基準額として、軽トラックのリース料を足したものが補助額となっております。

**青木健** 生きがい事業団の登録者数は何人ですか。

**健康福祉課長** 85人です。  
**黒岩** 社会福祉協議会の週1回のお年寄り向けの配食サービスの取り組み状況について伺います。

**健康福祉課長** 28年度と比べ、登録人数は1名増の42名です。

この配食サービスについては、上限40万円というところで、社会福祉協議会のほうに委託をしております、それを超えた事業費は、社会福祉協議会で負担をしています。

**黒岩** がん検診委託料は昨年より減っている理由と、検診を増やす方策について伺います。

**健康福祉課長** がん検診は、施設検診で子宮がん、乳がん、集団で、子宮がん、乳がん、胃がん、大腸がん、肺がんを実施しています。

肺がんは、受診者の人数はそれほど増減はありません。

大腸がん検診は、27年度で無料クーポンの配布が終わったこともあり、検診の人数は減っています。

無料クーポンは、対象者数の減で、相対的に受診者の数は減っています。

**黒岩** 大腸がんの無料クーポン券の制度は終了しましたが、その対策はありますか。

**健康福祉課長** 国の施策では、5カ年で全ての年代を網羅したため終了しましたが、今、医師会等で協議されています。

町としても、この大腸がんほか、がん検診の受診率を向上するための施策については、1市3町、がん検診部会のほうで今協議しているところで

す。

**青木健** 農地の耕作・非耕作面積はどうなっていますか。

**産業観光課長** 耕作面積は、29年度農地利用調査によりますと、55万8412㎡です。

荒廃農地の面積で、28年度に比べ約4・3ヘクタールほど耕作放棄地が逆に増えています。

増加の原因は、後継者不足や有害鳥獣等が、大きく起因していると、思われます。

**青木健** 農地転用の事実確認等の調査会を、何件行いましたか。

**産業観光課長** 農地法関係で5件、非農地証明も5件、農地転用後の転用

事実確認証明が2件です。  
**青木健** 水産振興費の漁業共済掛金補助金と、水産振興事業費補助金の内訳を伺います。

**産業観光課長** 漁業共済掛金は、大型定置網の漁業共済に対する共済掛金の補助です。

また、水産振興補助金は、真鶴漁港と岩漁港に、アワビやヒラメ等の稚貝放流に対する補助です。

**森** 岩海水浴場の運営事業で、岩海水浴場監視業務の実績を伺います。

**産業観光課長** すり傷や切り傷の薬の手当が9人あり、クラゲに対する薬

の手当を76人に行い、熱中症が1名です。

大きな水難事故等は、発生しておりません。

**天野** お林展望公園管理事業の臨時職員賃金で479万7157円、パークゴルフ場の使用料410万7000円より約70万上回っていますが、利用者の減少によるものですか。



質疑応答

9月定例会

**産業観光課長** 通常2名の職員を配置し、パークゴルフ場だけではなく、お林展望公園全体の管理を行っています。  
**収入**は26年度をピークに、減少傾向にあります。  
**岩本** 公衆トイレ清掃について、4ヶ所委託していると思いますが委託の内容はどの様になっているのですか。  
**産業観光課長** 通常月は月20日、7月・8月は毎日となっています。  
**岩本** 時々、公園内のトイレを利用することがありますが汚れていると感ずることがあります。  
**産業観光課長** 職員には定期的に見回りに行かせ、日報も上がっています。利用に際しての不都合は報告されていません。  
**岩本** 依頼している公衆トイレは観光客が多く利用する場所にあります。  
 委託内容が浄化槽・トイレの掃除などに特化しているのではないか、例えば壁や窓を綺麗にしておもらうなどの内容が含まれていないのではないかと



**田中** 町民の方から最近釣り場所の立入禁止が非



常になくなっていくと、声がありますか。どういう認識でいますか。  
**産業観光課長** 基本、通常月は土日も含め月20日、7月・8月も土日を含む毎日となっています。  
 清掃業務ということで依頼しているものなので、今後何らかの方法で対処していきます。

常になくなっていくと、声がありますか。どういう認識でいますか。  
**産業観光課長** 海岸を立入禁止というようなことは行っておりません。  
 ただし、お林の中で、県が指定した遊歩道以外の道らしきところ、崖地とか危険な状態でありますので、そういうところは、利用客の安全対策上、通行止めとしている箇所があります。  
**青木健** お林展望公園費修繕料は何を修繕したのですか。  
**産業観光課長** 2階部分の、現在貸している管理棟のトイレの水漏れ等の修繕です。  
**青木健** 芝刈り機が故障

して使えないが何故修理しないのですか。  
 今、芝刈り機は何台あるのですか。  
**産業観光課長** 2台で、どちらも故障中で今修理代の見積もりをしています。  
**青木健** 街灯修繕並びに新設は何件分か伺います。  
**まちづくり課長** 新設が1件、修繕が4件です。  
**青木健** 新設の場所はどこで、修繕の4件の修繕内容を伺います。  
**まちづくり課長** 新設の場所は岩の三角山付近で、修繕の内容は、隧道の照明の交換、県道沿いの水銀灯の交換、防犯灯の修繕などです。  
**まちづくり課主任** 断



線修理等については町で受け持たなければいけないので、そういった修繕を行っています。  
 新設については、要綱に基づいて判断をさせていただきますので、町民の皆様からそういった声が多かったというところで自治会から声を上げていただき新設をさせていただきますました。  
**青木健** 今現在、街灯は何本ありますか。  
**まちづくり課長** 町で管理する街灯数は、1526灯です。  
**天野** 小学校費、中学校費、消防費等でのAEDの詳細を伺います。  
**教育課長** 各学校1台、5年間のリース契約で1

台年間8万円です。  
**天野** 私が調べたところ8年契約で年間3万円ですが。  
**教育課長** 再度調べてより安い、効率的なものに変更できれば変更します。  
**田中** スポーツ推進活動事業の中で少年相撲の町出身者を町全体で応援できないでしょうか。  
**教育課長** 優秀スポーツ選手の表彰につきましては、町民運動会の際には、町民運動会優秀選手表彰という形で、既に事業としてはやっております。  
 それをさらに盛り上げていくことについては、各種団体に対して、優秀な選手を発掘して、広報活動をもっとしっかりやっていきたいと考えております。  
**岩本** 中学校の植栽手入れ委託料は校舎周囲の樹木の手入れですか。  
**教育課長** バックネット横から県道に面した側の高木を伐採しました。  
**岩本** 樹木の照明側だけ伐採し、反対側は何も手

# 9月定例会

9月定例会



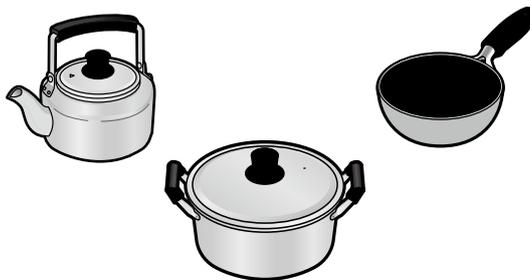
を入れておらず、非常に格好悪い状況ですので後ほど確認してください。

**幼稚園**には給食室がある筈ですが、定期的な修繕等は行っていますか。

**教育課長** 味噌汁や湯沸かしなど、簡易な調理が出来るようにしています。岩本 幼稚園は広域避難場所なので、大規模災害時には避難者が大勢詰めかける場所です。いざという時に、いつでも使用可能なように準備しておくことが大切です。

**教育課長** 倉庫に調理器具類はそろっているのですが、利用は可能であると考えています。

災害時にはおそらく地元自治会の人たちが使用するのにならうと思われ、そういった機会に使ってもらうような方法を総務課とも協議しながら考えていきます。



**黒岩** 児童生徒就学援助事業の29年度実績を伺います。

**教育課長** 要保護及び準要保護児童生徒援助費22万6100円は、要保護1名、準要保護34名に対し支出した援助費です。

特別支援教育就学奨励費3万5804円は、3名に対して支出した奨励費です。

28年度と比較し、要保護1名の減、準要保護4名の減、特別支援は1名の減です。

**黒岩** 生徒会費を増やすということ、29年度は

既に支給していますか。

**教育課長** 600円を既に支給しています。

**天野** 外国語指導助手事業の語学研修講師謝礼の講師とは誰ですか。

**教育課長** 外国人の英語の先生で年間、小学校で11日、中学校では94日、1日4時間勤務です。

**国民健康保険事業特別会計（事業勘定決算）**

**全員賛成**

**青木健** 医療給付分の現年課税分、収入済額に対する納税義務者数は何人ですか。

**町民生活課長** 国保の被保険者数は29年度末世帯数で1467世帯、被保険者数で2355人です。

**青木健** 前年比で、どのくらいの増減ですか。

**町民生活課長** 被保険者数で180人の減、増減率で7・1%の減、世帯数は91世帯の減です。

**青木健** 収入未済は、何か世帯ですか。

**税務収納課長** 約300世帯です。

**青木健** 介護納付金分の現年課税分の納税義務者数、被保険者数は何人ですか。

**町民生活課長** 29年度末で、793名です。

**青木健** 税の平等から滞納額の解決策はどう取り組んでいますか。

**税務収納課長** 国民健康保険税の滞納者につきましても、固定資産税、町県民税の滞納が重複している方が、かなりいます。不動産の公売にかかるときには、国民健康保険税も含めて滞納処分をしております。

**青木健** 給与を差し押さえた方は何人ですか。

**税務収納課長** 給与の差し押さえは1名です。

**田中** 分納をされている世帯は何世帯ありますか。

**税務収納課長** 約60世帯です。

**青木健** 介護納付金分の医療保険に移行する方が年に100人を超えるようになって、今後も、しばらくはこの傾向が続くものと見られます。

**黒岩** 33自治体の中で、真鶴町の国保税は、世帯で3番目、1人当たりで5番目に高いということですが、この高過ぎる保険料が未済額の滞納を増やす原因になっているのではないですか。

**町民生活課長** 今年度からの制度改革により、市町村間の格差も徐々に解消していくものと思っております。

**黒岩** 短期保険証の発行状況を伺います。

**町民生活課長** 30年8月31日現在で、60世帯に交付、内訳は1カ月が30世帯、3カ月が25世帯、6カ月が5世帯です。

**黒岩** 国保法第44条で、低所得者の窓口負担の減免制度、真鶴町では使っていますか。

**町民生活課長** 条例上は規定を設けていますが現実に、利用はありません。

**黒岩** 利用を申し出、条

質疑応答

9月定例会

件に合えばできますか。  
**町民生活課長** 条例の規定に合えば、適用されま

す。  
**青木健** 普通調整交付金に対して調定額が増えた理由を伺います。

**町民生活課長** 国庫補助金の普通調整交付金分と保険者努力支援制度の前倒し分などです。

**青木健** 普通調整交付金の中のその他特別調整交付金もかなり増えています。また、受診を動機づける試みとして、特定健康診断受診者のうちから、

**町民生活課長** 国の調整交付金、県の交付金については、3月にならないと、国からはつきりした数字が示されてこないの

で、補正対応できないのが実情です。  
**黒岩** 特定健診の受診率の向上のために、29年度行ってきた特徴的な取り組みと内容について伺います。

**町民生活課長** 本町の国保データの分析では、重症化して医療機関にかかる傾向があり、疾病別の医療費では、生活習慣病

にかかわるものが医療費の上位をしめ、29年度は、心電図検査を実施項目に追加し、特定健診の受診率向上対策として診療所において、随時健診を受け付けています。

**町民生活課長** 日曜日の1日に予約なしで受診できる日を設け

ほかに集団健診の会場を1カ所増やし、受診率は28年度に比べ0.7ポイント上昇しています。

**岩本** 葬祭費は一人につき5万円で11人が該当と説明がありました。支給の対象基準は何ですか。

**町民生活課長** 国保の加入者のみが対象です。  
**岩本** 町民の年間死亡者数は、広報まなづるに記載している数だけでも年間60名以上いると思います

が、内11名ということですか。  
**町民生活課長** その通りです。

**岩本** 広域化支援基金償還金の返済額1000万円は2000万円借りている

残金に対する返済金という説明がありましたか。  
**町民生活課長** この借入は、2本になっていて、25年度に借入入れた3000万円の分が600万円、27年度借入れた200万円の分が400万円となっています。

**岩本** 借入残高はいくらになっていきますか。  
**町民生活課長** 25年度分が1800万円、27年度分が1000万円です。

**国民健康保険事業特別会計（施設勘定）**  
**全員賛成**

**岩本** 町債償還元金について、借入残高、金利、償還期間を伺います。  
**町民生活課長** 借入残高は2億4174万円です。

借入は2本で10年に借入れた金利は2.1%、11年に借入れた金利は2.0%となっています。

借入期間は30年です。  
**青木健** 診療所の受診状況を伺います。

**町民生活課長** 年間1万3426人が受診、初診は2133人です。  
**青木健** 患者数は増える傾向にありますか。

季節的にはどうですか。  
**町民生活課長** 受診者数は、指定管理を受ける直前のころから、ほぼ横ばい

です。  
 患者の増える時期は、11月から2月でインフルエンザの流行時期です。

**下水道事業特別会計**  
**決算**

**岩本** 公共下水道管路施設調査委託金についての成果を伺います。  
**まちづくり課長** 旧ひょうたんからセブンイレブ

ン前までの間の調査です。  
**真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算**  
**全員賛成**

**介護保険事業特別会計決算**  
**全員賛成**

**青木健** 第1号被保険者保険料、現年度分の特別徴収保険料の調定額より収入済額が多い理由を伺

います。  
**健康福祉課長** 年金特別徴収で、死亡あるいは転出等による、39人分の歳

出還付です。  
**黒岩** 29年度の介護認定審査の状況を伺います。

**健康福祉課長** 新規123件、更新343件、変更申請27件、計493件の審査をしました。

**黒岩** 真鶴は認定されても元気なので実際に介護保険を利用しない方が多いとされていますが、経済的な理由で利用できない方の実態はどうなっていますか。

**健康福祉課長** 介護認定を取得すればケアマネジャーが付き、介護サービス、ケアプランを立てていきますので、経済事情で介護サービスが使えない、もしくは調整をしたという話は今のところ聞いていません。

**黒岩** 介護保険の滞納者の利用実態はどうなっていますか。

**健康福祉課長** 滞納もしくは、不納欠損がある場合には介護給付に制限があり、介護サービスを使う場合、滞納は全額納めていただきます。

**黒岩** 介護予防普及啓発事業で、前年と比較して特徴的な点を伺います。

**健康福祉課長** 旧平珍の地域サロン「和楽」の利用は、前年度は月1回、12回開催し、292人、29年度は、11回開催で310人、29年度に入り町

民センターで「真輪」旧保健センターで「ぎずな」を新たに新設しました。

「真輪」は20回開催、497人、「ぎずな」は、29年度は試行的に利用し、3回の開催で72名の利用です。

「和楽」は自主運営に大分移行されていますので、地域の方々が高齢者の集う場としてさまざまなイベントなども工夫しながら社協と連携しながらやっています。

**黒岩** 成年後見制度利用事業の内容と特徴を伺

# 9月定例会

ます。  
健康福祉課長 親族もしくは身内のない方で町長申し立てによる成年後見です。

現在、28年度は3名、29年度は2名を公費を使い支援しています。

**岩本** 地域介護予防活動支援事業、利用している場所が三カ所、場所の利用制約上、検証効果に差が出てこないか危惧しますが。

**健康福祉課長** 徒歩で集まれる場所の確保を考え、今、岩地区に4カ所目を考えています。

**岩本** 支え合い分かち合い体制づくり事業（マナサポ活動）について、どんな活動をしていますか。  
**健康福祉課長** サポーターとして登録していただいている人が22名で、日常生活支援が主な仕事です。

内容としては、電球交換・家具の移動・掃除・買い物代行・草むしり・外出の付き添い・ゴミ出しなどです。

## 後期高齢者医療特別会計決算

全員賛成

**天野** 滞納繰越分の収納率が28年度の23・39%から、29年度の43・01%に倍増している理由を伺います。

**町民生活課長** 未納者に対して、勧奨通知を新たに送付し、その際に納付書も添付したことにより、滞納者が危機感を覚え、納付されたことによるものだと思います。

**黒岩** 後期高齢者の保険料が、28年度と比較し増えた理由は何でしょうか。

**町民生活課長** 被保険者数が、28年度は年度末に1453人だったところ、29年度の年度末では1481人ということが大きな要因と思われます。  
**黒岩** 低所得者保険料の特別軽減縮小の影響について伺います。

**町民生活課長** 後期高齢者医療保険料の軽減特例は、年収が153万円から211万円の方について、所得割を特例として5割軽減していましたが

これらについては、軽減特例の見直しが行われたところでは。

29年度は、一定の所得の方に対する5割軽減を2割軽減に軽減率を下げています。

29年度の保険料に反映されています。  
**黒岩** 収入未済額、28年度と比較すると29年度が増えている理由はなんですか。

**税務収納課長** 29年度中に真鶴町に転入された方が当町に来る前から保険料等を滞納されたことが主な要因です。

**町民生活課長** 本件の滞納と、この軽減特例の段階的な見直しは、どう影響しているか、因果関係は不明です。

**岩本** 一日平均配水量が2779m<sup>3</sup>、前年に比べて減っていて、2年前と比較しても減って有収水量も減っています。節水効果や人口減少が

主な要因かもしれないと思いますが、原水配水及び給水費合計9180万円の内、受水費5110万円が今、湯河原町から購入している代金で、水道原価の中の約56%を占めています。

湯河原町から来ている水量はどのくらいなのか伺います。

**まちづくり課長** 29年度の実績で26万7820m<sup>3</sup>です。

**岩本** 湯河原町から給水を受けている量・金額を伺います。

**まちづくり課長** 湯河原町との協定の中で日量1400m<sup>3</sup>となっていますから365日掛けますと51万1000m<sup>3</sup>になります。

**岩本** 実質の受水量を365日で割り算すると日量733m<sup>3</sup>になり、約半分しか使っていません。この辺が真鶴町水道料金の引き下げが出来ない原因ではないかと思えます。

町との協定に基づく責任水量と比較すると53%程度の利用です。

町としてはなるべく実質水量に近づけたらいいと思います。以前から持っていたとして、協定の自身の見直しについて、協議を進めるための専門部会で何らかの結論を出して行きたいと考えています。

**青木健** 有収率が前年度より減った理由を伺います。

**まちづくり課長** 要因としては、漏水と、消防の訓練で防火水槽の水を使っていることが影響していると思います。

**青木健** 漏水は何件ありましたか。

**まちづくり課長** 漏水は、29年度16カ所です。

**青木健** 漏水したとき、どのぐらい減免していますか。

**水道係長** 主に一般家庭における減免のケースは、2パターンあり、前年の同じ月の水量もしくは漏水の影響のない3カ月の平均の使用量、どちらかで算定をしています。



## 水道事業会計決算

全員賛成





森 敦彦  
議員

琴ヶ浜研修センターについて

3月定例会で、町長から、利用件数について、施設の規約が出来ていなかったため、実際利用したのは年間4件だが、20件から30件の申し込みがあったと発言しています。

規約の制定状況と平成30年4月から8月までの利用件数を伺います。

同じく教育長からは昼間の研修と泊まる場合の研修の課題等の説明を受けたので、課題の検討状況を伺います。

A 平成30年4月1日から施設の一次的な使用及び貸付料に関する要綱を施行いたしました。利用件数は8件で合計360名の利用がありました。今後はこれまでの利用

団体による要望や意見を活かした施設の整備に努め、新規利用やリピート利用を増やして参りたいと考えています。また、教育委員会においては、琴ヶ浜の自然環境を活用し、自然体験プログラムの計画を立てています。

将来的な宿泊を伴う利用に向けては、消防用スプリンクラー設備工事・シャワー室の設置工事や宿泊用品購入等の大規模な施設改修が、必要となりますので、利用者のニーズ等を勘案し、段階的に整備をして参りたいと考えています。

元々は、宿泊研修が主だったと思います。が、いつ頃から、宿泊できるのですか。

A 財政的事情を踏まえ、また、津波避難に付いての、問題点をクリアできた段階で、宿泊できるようにするよう施設にしています。

Q 宿泊研修が、できなかった一番の要因は、なんですか。

A 津波のことと、消防設備を改修しなければならぬことです。土地や建物を購入してから、津波や消防設備の無いことが、分かるというのは、私にとつては、はなはだ不思議です。

なぜ、そのことが、事前に分からなかったのか、本来なら十分に中身を検討して、津波のことも分かっていることだから、慎重さが、欠けていたと思います。

泊まろうと思って買ったところが、消防の設備がない、津波の危険性がある、だから泊まれないということでは、何で、買ったのか、という理窟になります。

答えには、私は、納得できないが、買ったお金が無駄にならないように町民の税金で買ったわけで、交付金でも補助金でも同じですので、工夫をして、研修センターとして、多く利用されるように、十分に考えていただきたい。

Q 津波のことと、消防設備を改修しなければならぬことです。土地や建物を購入してから、津波や消防設備の無いことが、分かるというのは、私にとつては、はなはだ不思議です。

一般質問



天野 雅樹  
議員

コミュニティーバス運行の改善について

昨年12月と本年3月定例会での町長答弁に対し、「住民の要望が多いバス停の新設は町長が指令を出した通りすぐに取り組んでいただきました」と発言しましたが、6カ月を経てもいまだに新設はされていません。この理由を伺います。

A 運輸計画、バス停の新設策定、車内の放送内容変更等の諸費用が発生することから本年度、過疎地域等自立活性化推進事業交付金を活用し町内の交通計画の改定作業を進める中で町の財政状況を踏まえ合理的に一括して実施することを検討していましたが、要望の多い箇所につきましては9月に予定されている地域公共交通会議に議題として提案し、設置に向けて手続きを進めていきます。

Q 会議で議題が承認された場合は新規のバス停の新設はいつ頃になりますか。

A 12月上旬頃の施設設置に向け事務を進めていきます。

Q 高齢者の多い町なのでなるべく早く、できれば一般財源を使わず交付金での新設をよろしくお願いします。

A 高齡者の多い町なのでなるべく早く、できれば一般財源を使わず交付金での新設をよろしくお願いします。

Q 磯焼けや漁獲量、漁業従事者の減少等は定期的に両組合との会合を行い把握しています。支援につきましては、つき磯設置の県要望、定置網の漁業共済掛金の補助、ヒラメやアワビの稚魚・稚貝放流への補助、今年度はイセエビ資源回復機器設置、岩漁港網干場整備への補助を行っています。

Q カジメの減少でアワビが減少、身痩せしています。

A 国等の補助を活用し二の除去等磯焼け対策や人工漁礁の造成を行い水産物資源量増加、漁業者の安定化に向け漁業関係者をより一層サポートしてください。

Q 地球温暖化による海水温の上昇や黒潮の大蛇行により真鶴の海も磯焼けが進んでいます。漁場の衰退により漁業関係者の安定的な漁業経営が困難な状況になつているなか漁業従事者の減少も大きな問題となっております。町はこの状況を把握していますか。

A また現在町で取り組んでいる空き家対策と絡めて漁業従事者の確保を図る等の対策も真鶴、岩両漁業協同組合と連携し、これまで基幹産業として町の発展を支えてきた漁業が活力を取り戻せるよう積極的な補助をしてください。

Q 地球温暖化による海水温の上昇や黒潮の大蛇行により真鶴の海も磯焼けが進んでいます。漁場の衰退により漁業関係者の安定的な漁業経営が困難な状況になつているなか漁業従事者の減少も大きな問題となっております。町はこの状況を把握していますか。

A また現在町で取り組んでいる空き家対策と絡めて漁業従事者の確保を図る等の対策も真鶴、岩両漁業協同組合と連携し、これまで基幹産業として町の発展を支えてきた漁業が活力を取り戻せるよう積極的な補助をしてください。

Q 磯焼けや漁獲量、漁業従事者の減少等は定期的に両組合との会合を行い把握しています。支援につきましては、つき磯設置の県要望、定置網の漁業共済掛金の補助、ヒラメやアワビの稚魚・稚貝放流への補助、今年度はイセエビ資源回復機器設置、岩漁港網干場整備への補助を行っています。

Q カジメの減少でアワビが減少、身痩せしています。

A 国等の補助を活用し二の除去等磯焼け対策や人工漁礁の造成を行い水産物資源量増加、漁業者の安定化に向け漁業関係者をより一層サポートしてください。

Q 地球温暖化による海水温の上昇や黒潮の大蛇行により真鶴の海も磯焼けが進んでいます。漁場の衰退により漁業関係者の安定的な漁業経営が困難な状況になつているなか漁業従事者の減少も大きな問題となっております。町はこの状況を把握していますか。

A また現在町で取り組んでいる空き家対策と絡めて漁業従事者の確保を図る等の対策も真鶴、岩両漁業協同組合と連携し、これまで基幹産業として町の発展を支えてきた漁業が活力を取り戻せるよう積極的な補助をしてください。



**黒石 範子**  
議員

**真鶴駅のホームのベンチの座席数の増設を**

**Q** 真鶴駅のホームに待合室を設置することは、現在の乗車人数3000人で設置基準の約5000人に満たないため、出来ないというなら、せめて現在のベンチの座席数の増設をJRに申し入れ、実現を図るべきではないでしょうか。

**A** 湯河原側のベンチを上屋内の自動販売機の手前にスペースを設け移設することです。

移設の理由はベンチを屋根のあるところに置くためと安全管理上の配慮です。

**南側エレベーターの進捗状況はどうなっているか**

**Q** 真鶴駅南側のエレベーターは議会でも何度も審議されていますが

なかなか実現しません。神奈川県とJRとの間の補償問題は解決がいつたのでしょうか。

**A** 他に問題があるのでしようか。

県に進捗状況を確認したところJR東日本と設置位置を協議決定していく上で、詳細な調査が必要となることから新たな調査を進めています。

順調に進めば、その後2年間で、ボーリング調査、詳細設計、工事実施の予定となり、今後、町への報告や協議は適宜適切に行なっていくと伺っています。町としても早期実現を働きかけていきます。

**平成30年度真鶴町ランドデザイン策定業務委託事業について**

**Q** 計画の段階から町民参加が出来るようにするために、関係者協議会の回数を増やし、公開に出来ませんか。

**A** グランドデザインの骨子案を作成するために岩漁港周辺地区では

岩漁協及び周辺地区内の住民などによる会議で真鶴半島地区では、お林保全協議会及び亀ヶ崎等利用促進会議で真鶴駅周辺地区では、真鶴駅周辺地区構想検討会で真鶴港周辺地区では、真鶴港みなとまちづくり協議会で協議をしていくこととしております。

関係者協議会は公開を考えておりませんが、参加の皆さんの了解が得られれば公開もありません。

**Q** グランドデザイン策定業務委託事業の中で、真鶴駅周辺環境整備基本計画の位置づけは、どうなっていますか。

**A** 真鶴駅周辺環境整備基本計画は、真鶴駅周辺地区ランドデザインの内容を検討するための町からの提案としての位置づけであり、今後検討会の結果によって変わっていくことはあります。

真鶴駅周辺環境整備基本計画は、真鶴駅周辺地区ランドデザインの内容を検討するための町からの提案としての位置づけであり、今後検討会の結果によって変わっていくことはあります。

## 一般質問



**田中 俊一**  
議員

**町のバリアフリーについて**

**Q** 高齢者や障がい者が十分に社会参加できる共生社会の実現を基本理念に掲げ、誰もが安心して円滑に移動できる町づくりを推し進めるために市町村に対しバリアフリー方針の作成や、重点的に整備する地区を定めるマスタープラン基本計画の策定が努力義務として規定されました。

この6月のこと、要介護の町民からの相談で、一定距離の歩行は可能だが少し長いと負担が強く、最近電動シニアカーを使うようになって、通院の途中、駅前の駐輪場を利用しようとしたところ、シニアカーはその当時は対象外で利用できなかったとの話があり、その旨を町幹部に話した

ところ、条例があり、その段階では対処に限界があるということでした。今までになかったケースでしたが、今後もうこういったことが増えてくるだろうとの思いで、私は条例改正を言いました。こういった経緯があった中で、この度、真鶴町行政の速やかな判断を得て議案として、提案され、シニアカーの事項を盛り込んだ条例改正が成立の運びとなった。町・社会を取り巻く様々な従来からの見直しが必要と思うがどう考えますか。

**A** 電動シニアカーのよう現状把握等の調査を実施し、現状で困っている方の存在、高齢者や障がい者を鑑み、福祉関係の会議からも情報を収集し、できることから解決していきます。

**Q** 跨線橋南側エレベーターの早期実現についてバリアフリーの観点から伺います。

**A** 共生社会、ランドデザインに持続可能な社会をつくるために、県が推奨しているSDGSを入れて進めていきます。





青木 健  
議員

鳥獣被害対策について

**Q** 町内にサル、イノシシ、カラス、ヒヨドリなどが出没し被害を及ぼす状況にあります。

**A** 町に連絡、報告のあった件数、被害額、被害作物はサルは31件25万6000円でイチジク、柿、さつまいも、イノシシは29件(うち24件捕獲)149万円でみかん、アスタバ、タケノコ、カラス等は15万7000円でみかん、晩柑類、キャベツ、ハクビシンは6件3万1000円です。

真鶴聖苑、城北地区、石名坂、町宮住宅、岩ふれあい館、橋の上、ひなづる幼稚園等に出没し年間を通して被害が発生しており農協を通して防鳥ネットの貸与、猟友会の実弾による駆除等の対策を行っています。抜本的な対策になっていません。ワイヤーメッシュや電気柵の貸与を行いながら猟友会と連携強化により駆除に努め県や近隣市町と連携しながら解決法を検討してまいります。

災害級の最高気温に対する行政の対策について

**Q** 今年の7・8月は観測史上日本列島のいたるところで最高気温が40度を越える地域があり、熱中症による死者が出ました。①当町の最高気温

**A** 当町では気温の測定は行なっていないため湯河原消防本部の測定で、今夏の最高気温は8月1日の36・5度です。

②教育施設のエアコン設置状況③有事の際の広域避難場所の冷暖房機の設置状況④課題と整備計画など子供や高齢者の方を含めた住民への課題と解決策を伺います。

今年7・8月は観測史上日本列島のいたるところで最高気温が40度を越える地域があり、熱中症による死者が出ました。①当町の最高気温は30度です。②教育施設のエアコン設置状況は、小学校体育館、中学校体育館岩ふれあい館体育館には設置されておらず、幼稚園園舎ホールには暖房が設置されています。自己責任で管理できない子供のいる世帯には新生児訪問、乳幼児健診、学校からの情報収集、地域を始めとした関係機関と連携して対応してまいります。

サポートを必要とする高齢者や生活保護世帯には町職員やケースワーカーによる訪問指導を実施し必要に応じてエアコンの設置を推奨しています。

一般質問



コミュニティバス



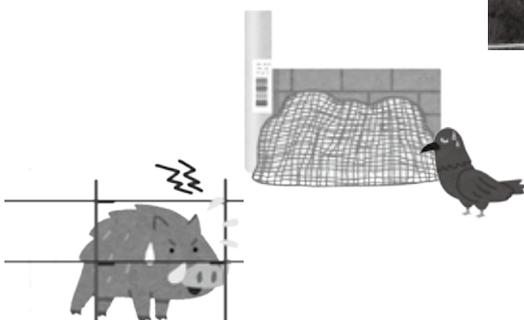
真鶴駅



琴ヶ浜研修センター



真鶴駅跨線橋



鳥獣対策

平成30年 9月定例会 審議結果

会期(9月4日～14日)

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木巖	高橋敦
発委第2号	決算審査特別委員会設置に関する決議について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	副町長の選任について	10	9	1	同	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	真鶴町監査委員の選任について	10	9	1	同	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	教育委員会委員の任命について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	真鶴町農業委員会委員の任命について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定)				報											
報告第5号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定)				報											
議案第33号	真鶴町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	真鶴町自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	平成30年度真鶴町一般会計補正予算(第2号)	10	8	2	可	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第36号	平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第1号)	10	9	1	可	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	平成30年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	平成30年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成30年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成30年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	決算の認定について(平成29年度真鶴町一般会計決算)	10	9	1	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	決算の認定について(平成29年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算)	10	9	1	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	決算の認定について(平成29年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	決算の認定について(平成29年度真鶴町下水道事業特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	決算の認定について(平成29年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	決算の認定について(平成29年度真鶴町介護保険事業特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	決算の認定について(平成29年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算)	10	9	1	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	剰余金の処分及び決算の認定について(平成29年度真鶴町水道事業会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	平成29年度決算に基づく真鶴町健全化判断比率について				報											
報告第7号	平成29年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について				報											
発議第1号	平成30年台風第12号、13号による災害に関する意見書について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は裁決に加わりません

審議結果

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥 ※議長(高橋 敦)は採決に加わりません  
 議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

委員会報告

議会運営委員会

総務民生常任委員会

事務手続きについて」の報告がありました。

総務民生常任委員会  
委員長 田中俊一

度設計に向かって進んでいるという内容の報告がありました。

対策が具体化した段階で進められるとの報告がありました。

議会報告会開催について

第6回真鶴町議会報告

災害時における議会、議員の役割については、災害対策基本法に議会、

議員に触れる条文が皆無

であり、法制度上、明確になっていません。

議会、議員が自らの活

動方針さえ定めない現状

のなか、災害時には行政

が多忙を極めることが想

定されます。

そこで、議会としては、

情報の一元化、議員にあ

っては情報収集、提供、

地域支援活動などの側面

からの支援活動について

話し合いました。

緊急時にマニュアルが

どれだけのものか、これ

だという結論にいたるこ

とはありませんが、大事

なことは災害時には、力

を合わせて応急対応、復

会を、11月16日(金)午

後6時より情報センター

真鶴1階映像ホールにお

いて開催いたします。

この議会報告会は、真

鶴町議会基本条例第6条

に基づき開催するもので、

町議会の活動について、

町民の皆様にご報告

することを目的としたも

のです。

第1部 町議会の活動に

関する報告

第2部 意見交換

皆様のご参加をお待ち

しております。

真鶴魚座・ケープ真鶴

それぞれの指定管理者管

理運営状況評価について、

評価委員会の評価結果報

告がありました。

評価委員会は、公の施

設の管理運営を行う指定

管理者について、その管

理運営状況に関する事項

を評価するもので、今回

は、その初めての評価結

果の報告です。

地域公共交通事業

コミュニティバスが

運行開始から1年半経過

し、民間バスが撤退する

中で、将来にわたり持続

可能な交通ネットワーク

を検討するため、バス利

用者へのアンケート調査

デマンド交通の実証実験

を実施し、再編実施計画

③ 青少年問題協議会の会

議報告

6月29日に開催された

青少年育成連絡会の会

議資料が配られ、現在、

特に学校教育における

問題点や、インターネ

ットの普及に伴って発

生する犯罪へ、引き込

まれないための意識教

育などについての報告

がありました。

経済文教常任委員会

委員長 岩本 克美

平成18年末に共用開始

以来11年が経過、既事

業計画区域に新たに33

haを加え、61haとしま

した。

② 国道135号線渋滞対

策の実証実験について

根府川交差点の渋滞解

消について県が実施し

た実証実験の結果につ

いて報告がありました。

渋滞要因に対する取

り組みは道路管理者の

議を傍聴してみませんか

次の議会は  
定例会 12月6日(木) 7日(金) 14日(金)  
の予定です。

真鶴地域情報センター・  
インターネットでも  
議会中継をひてます。



## 委員会等への出席・傍聴（平成30年6月～8月）

白枠は出席対象 傍聴は自由です。

委 員 会	開催 日数	出席・ 傍聴	青木 健	森 敦彦	天野 雅樹	黒岩 範子	岩本 克美	田中 俊一	板垣 由美子	海野 弘幸	青木 繁	青木 巖	高橋 敦
議会運営委員会	6	出席				6	6	6		5	6	6	議長はすべての委員会に出席します
		傍聴		2	5				6				
総務民生常任委員会	2	出席	2			2		2		1	2	2	
		傍聴		1	1		2		2				
経済文教常任委員会	2	出席		2	2		2		2		2		
		傍聴				2		1				1	
地方創生等検討特別委員会	0	出席											
		傍聴											
議会広報特別委員会	2	出席	2	2	2	2			2				
		傍聴											
広域行政特別委員会 ※湯河原町真鶴町広域行政推進協議会	2	出席			2			2		1	2	2	
		傍聴					1		2				
全員協議会	1	出席	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		傍聴											
決算審査特別委員会	2	出席	2	2	2	2	2	2					
		傍聴							2		1	2	

## 真鶴町議会委員会構成表

議長 高橋 敦      副議長 板垣 由美子

平成30年11月1日現在

委員会名	委員長	副委員長	委員			
総務民生常任委員会	田中 俊一	青木 健	黒岩 範子 青木 巖	海野 弘幸 青木 繁		
経済文教常任委員会	岩本 克美	森 敦彦	天野 雅樹 板垣由美子	高橋 敦 青木 繁		
議会運営委員会	青木 繁	青木 巖	黒岩 範子 田中 俊一	岩本 克美 海野 弘幸		
広域行政特別委員会 ※湯河原町真鶴町 広域行政推進協議会	海野 弘幸	青木 繁	天野 雅樹 青木 巖	田中 俊一		
議会広報特別委員会	板垣由美子	天野 雅樹	青木 健 黒岩 範子	森 敦彦		
地方創生等検討 特別委員会	青木 巖	岩本 克美	青木 健 板垣由美子 青木 繁	森 敦彦 田中 俊一		
監査委員	青木 巖	湯河原町真鶴町 衛生組合議会議員	高橋 敦 青木 繁	板垣由美子 青木 巖		

その他の議会関連行事（平成30年6月～8月） 白枠は議会に出席依頼のあったものです。

月	議会関連行事	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木巖	高橋敦	
6月	神奈川県町村議会議長会 正副会長会議											○	
	神奈川県町村議会議長会 役員会											○	
	神奈川県町村議会議長会 平成30年度第1回臨時総会											○	
	2018開成町あじさいまつり開園イベント											○	
	町民ソフトバレーボール大会											○	
	全国過疎地域自立促進連盟 理事会											○	
	議員視察(未病バレーBIOTOPIA)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小山町・足柄上郡・足柄下郡議会副議長意見交換会								○				
	真鶴町観光協会 平成30年通常総会		○	○		○		○					○
	タイ地方自治体 高齢者・障がい者サービス能力向上研修												○
	湯河原町真鶴町衛生組合 月例監査												○
	神奈川県町村情報システム共同事業組合 例月出納検査												○
例月出納検査											○		
7月	タイ地方自治体 高齢者・障がい者サービス能力向上研修											○	
	真鶴町社会福祉大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	神奈川県町村議会議長会 役員会											○	
	神奈川県町村議会議長会 平成30年度第1回定例総会											○	
	神奈川県町村情報システム共同事業組合 平成30年度第1回臨時総会											○	
	岩海水浴場海開き		○	○		○		○				○	
	決算審査											○	
	小田原地方防犯協会 総会												○
	小田原真鶴道路建設促進協議会 総会												○
	神奈川県町村議会議長会 行政視察												○
8月	湯河原町真鶴町衛生組合 月例監査											○	
	貴船まつり											○	
	宵宮イベント「ツートン青木と愉快的仲間たち」											○	
	湯河原やっさまつり											○	
	真鶴町青少年問題協議会											○	
	大井よさこいひょうたん祭											○	
	岩海岸夏まつり											○	
	箱根芦ノ湖鳥居焼まつり								○				
	丹沢湖花火大会												○
	海の町豊漁豊作祭盆踊り大会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
8月	弘沢の滝ふるさと夏まつり											○	
	例月出納検査										○		
	マナ真鶴ハワイアンのタベ					○						○	
	まつだ観光まつり・あしがら花火大会											○	
	湯河原町真鶴町衛生組合 月例監査											○	

## 平成30年台風12号、13号による災害に関する意見書

全国的な猛暑が続く中、7月初旬に発生した西日本の豪雨では、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、尊い多くの命が奪われました。その後7月下旬には、例年にない進路の台風が襲来し、神奈川県西部の沿岸に位置する小田原市、真鶴町、湯河原町では、大きな被害を受け、さらに追い打ちをかけるような、8月上旬の台風の影響で、沿岸部では異常事態が頻発しています。

特に、7月25日に発生した台風12号は、関東地方から西に進む異例のコースとなり、小田原から熱海にかけての沿岸では、東の風が大潮の満潮をあおり、異常な高波を誘発しました。この影響で国道135号の小田原市米神、江之浦では、湯河原町の救急車や小田原警察署のパトカーを含む15台の車両が取り残され、救急隊員や警察官を含むおよそ30人が高台等へ避難する緊急事態が発生しました。この救急車は、高齢者の病人と付添の2人を乗せて小田原市内の病院へ搬送中でしたが、高波により車両が大破したため搬送不能となりました。また、真鶴ブルーラインのトンネル区間においては、高波が入り込んで水没するなど、国道135号の小田原市石橋から真鶴ブルーラインの湯河原町吉浜終点までの約11.5kmが、約21時間に渡って通行不能となりました。

さらに、真鶴町では、岩漁港の防波堤が被災したことで、付近の住民が危険にさらされ、真鶴港では、付近の民家や港湾管理事務所をはじめとした様々な施設が被災し、真鶴町の観光、産業にとって重要な施設が危機に瀕しています。

こうした事態への対策が進まないうちに、8月7日には台風13号が影響し、再び小田原、湯河原間の交通が約35時間に渡って寸断される事態となりました。

国道135号では、過去、平成27年3月に発生した米神地先の落石事故（約17トンの巨石）の際にも交通規制が行われ、この迂回の影響で、箱根の至る箇所まで交通渋滞が発生するなど、神奈川県西部の社会問題に発展した経緯があります。

海岸沿いで隣り合う小田原市、真鶴町、湯河原町を結ぶ国道135号は、当該地域を支える重要な緊急輸送道路であり、ひとたび災害が発生すると、地域は孤立し、人や物の流れに甚大な影響を与えることになります。

このように、想定できない災害に突如見舞われ、人命までが危険にさらされる状況となったことに対し、真鶴町議会として早急な対策が必要との認識に基づき、次の事項について、特段の措置を講じられますよう強く要望致します。

- 1 国道135号の小田原市石橋から根府川交差点間には、並行する代替路線がないため、災害時等には交通が寸断されることが以前から大きな課題となっている。国道135号は緊急輸送道路であり、このリダンダンシーとしても期待される広域農道小田原湯河原について一層の整備を推進し、早期完成を図ること。
- 2 急峻な地形と海に挟まれた国道135号は、数多くの土砂災害警戒区域等を通過していることから、災害による道路寸断を防ぐため、越波や土石流、急傾斜地等の各種防災対策工事を進めること。
- 3 自然災害による高波や高潮、津波被害が国道135号で発生した場合に、道路利用者が危険な場所から避難できる緊急避難通路等を確保すること。
- 4 真鶴町は、海岸付近に民家が密集していることから、住民の安全を確保するため、高波・高潮対策や地震による津波対策も含め、早急に対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成30年9月14日

(提出先) 神奈川県知事

神奈川県真鶴町議会

### 編集後記

9月の第3回定例議会は平成29年度の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算認定を審議する議会でした。

今回上程された決算認定においても予算の執行状況について慎重に審議・審査を行いました。結果、全ての会計の決算は「認定すべきもの」と可決しました。これからも予算が適正に執行されているか町民のために何が必要かを重視し、現在町で行われていること、これから行おうとしていることをなるべく分かり易く皆様にお伝えできる「議会だよりまなづる」の編集・発刊に努めて参ります。

今後ともご愛読していただき皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

#### 議会広報特別委員会

副委員長 天野雅樹

#### 議会広報特別委員会

委員長 板垣由美子  
副委員長 青野 雅樹  
委員 天野 健樹  
委員 森木 敦彦  
委員 黒岩 範子